

2026 年 9 月 18 日

各 位

鉄建建設株式会社

代表取締役社長 今井 政人

問合せ先 経営企画本部 広報部

(TEL 03-3221-2297)

「北海道新幹線、二ツ森トンネル（明治）他」工事における品質管理試験の
不正行為に関する調査結果および再発防止策について

2026 年 7 月 21 日に、弊社ホームページにてお知らせしました「北海道新幹線、二ツ森トンネル（明治）他」工事（発注者：鉄道・運輸機構）におけるコンクリートの品質管理試験での不正の件について、その後の調査の状況をお知らせいたします。

当該工事では、トンネルの覆工・インバートの打設コンクリートに関する品質管理試験において、そのうちの 3 回について使用する機器を不正に操作し、単位水量が基準値内に収まるよう調整しておりました。発注者をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑をお掛けしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。弊社といたしましては、その後、当該コンクリートの健全性の確認、他の工事における同様の不正の有無の調査、原因究明および再発防止対策の検討を行ってまいりました。このたび、品質管理試験において不正行為が確認された箇所について、必要な試験・調査が完了し、当該コンクリート構造物の品質・健全性に影響を及ぼす異常がないことを確認いたしました。なお、その他の箇所についても引き続き試験・調査を実施しております。

また、当社が施工した他の同種工事についても、同様の事案は確認されませんでした。あわせて、本件の原因および再発防止策を取りまとめましたので、その結果についてお知らせいたします。

1. 工事概要

- ・工事件名：北海道新幹線、二ツ森トンネル（明治）他
- ・発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局
- ・契約日：2020 年 2 月 6 日
- ・工期：2020 年 2 月 7 日～2029 年 4 月 16 日
- ・施工者：鉄建・ノバック・生駒・萌州特定工事共同企業体
- ・工事概要：工区延長 3,305m（トンネル延長 3,255m）

2. 不正の内容

本件は、コンクリート打設時の品質管理試験において、試験に使用する機器の取り扱いが適切でなかった事象でした。具体的には、単位水量試験（コンクリート中に含まれる水分量を計測する試験）において使用するエアメーターの圧力調整口を操作することで空気量の値を大きくみせかけ、結果として単位水量が基準値内に収まるよう調整したものです。当該事象の判明後、品質管理関係者へのヒアリングを行ったところ、当該工事におけるコンクリート打設時に、同様の不正行為が他に 2 回あったことを確認しました。現在は、JIS 認定の生コン工場による品質管理試験を全数実施する等、品質管理体制を強化し、工事を継続しております。

3. 健全性の確認

当社は本件を、品質管理試験の信頼性に疑義を生じさせる重大な事象と受け止め、当該工事において、今回の事象発生までにコンクリート打設した全箇所について、発注者が立会や試験結果等の確認を行いながら、速やかに以下の試験および調査を実施しております。

- ・強度に関する試験

反発硬度法（テストハンマー）による推定強度確認、コア採取による圧縮強度試験

- ・耐久性に関する試験

目視・打音検査、表層透気試験（トレント法）

- ・充填性に関する調査

電磁波レーダー探査（マルチパスレーダー）

このうち、ヒアリングにより品質管理試験において不正が確認された箇所については、すべての試験・調査が完了しており、構造物の品質・健全性に影響を及ぼす異常がないことを確認し、発注者に報告しております。また、対象となるトンネル全延長についても「強度に関する試験」が完了しており、構造物に影響を及ぼす異常は確認されておられません。今後も、残る「耐久性に関する試験」、「充填性に関する調査」を引き続き実施し、年内中には確認結果を公表できる見込みです。

4. 他の工事に関する調査

北海道・北陸・西九州新幹線等に関連する工事につきましては、竣工済の案件を含め、品質管理記録による確認および現場代理人、監理技術者、施工管理者（コンクリート）へのヒアリングによる確認を実施した結果、本件と同様の品質管理試験における不正な操作は確認されませんでした。

また、他の当社施工中の工事案件につきましても、コンクリートの品質管理試験実施状況などを調査した結果、問題のある工事は確認されませんでした。

5. 原因究明と再発防止策

原因究明のためのヒアリング等の結果、今回不正の行われた3回については、いずれの場合も、コンクリートの品質管理と施工箇所における打設管理を同一の社員が兼務していたことにより、品質管理と施工管理のけん制機能が働かず、その結果として品質管理業務における不正行為が発生したものと確認しております。

また、その背景には、打設作業を円滑に進めたいとの心理的な焦りが生じやすい業務体制であったことに加え、コンプライアンス意識および品質管理に関する基本的認識が十分でなかったことが要因として確認されました。

さらに、作業所におけるコミュニケーションの不足や、品質管理業務に対する管理・監督体制が十分に機能していなかったことも、不正行為の発生および本件の未然防止を阻害した組織的要因であると認識しております。

当社は、これらの原因および要因の分析を踏まえ、品質管理体制の見直し・強化、コンプライアンス教育の充実等、再発防止策の徹底に取り組んでまいります。

（１）全社的対策

- ① 品質管理の重要性およびコンプライアンス遵守に関する周知徹底並びに理解度確認
- ② 若年層研修における品質管理の重要性に関する教育を強化
- ③ 管理職を対象とするマネジメント研修の強化

(2) 当該工事作業所における対策

- ① 品質管理の重要性およびコンプライアンス遵守に関する周知徹底並びに理解度確認
- ② コンクリート品質管理試験体制の強化
- ③ 現場管理体制の強化

(3) その他作業所における対策

当該工事における対策を類似工種等の作業所に水平展開

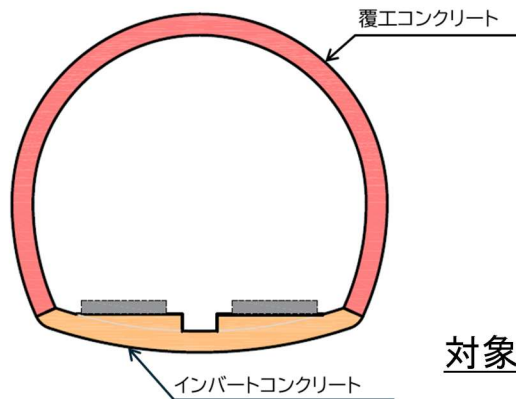
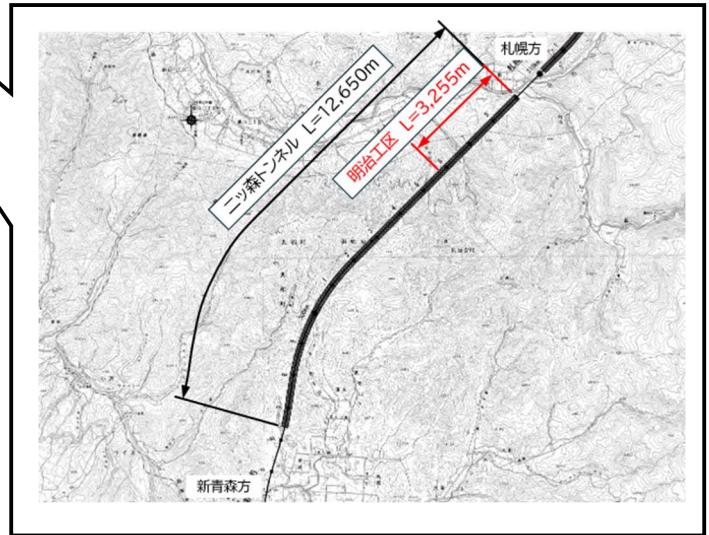
当社は、本件を極めて重大な事案であると認識し、発注者をはじめとする関係者の皆様からの信頼回復に向け、再発防止策を着実に実施するとともに、品質管理体制およびコンプライアンス体制のさらなる強化に取り組んでまいります。

以 上

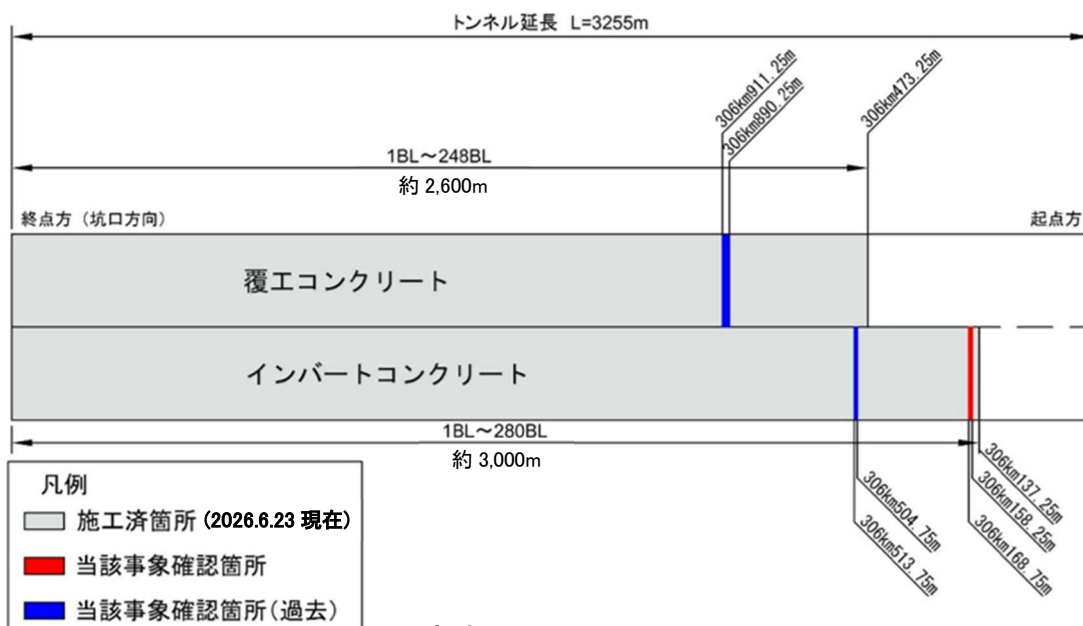
【参考資料】



工事箇所



対象構造物



事象発生位置図